

●初期嘔吐

新生児期の嘔吐は日常적으로よくみられます。その原因は生理的嘔吐から、消化器疾患、感染症、代謝内分泌疾患に至るまでいろいろあります。生後数時間の新生児は粘液や線状の血液を吐くことがあり、初期嘔吐といえます。分娩中に飲み込んだ羊水の成分や産道の分泌物による胃粘膜刺激が原因と考えられています。生理的嘔吐の原因で最も多いのは、哺乳量過多や、飲み込んだ空気を排気（げっぷ）できないために腹圧が上昇することによるものです。

吐いたものが羊水様やミルクで、嘔吐以外の症状がなく哺乳も良好な時は、嘔吐回数や量が徐々に減ってくれば初期嘔吐と考えられるためそのまま経過をみます。特に治療は必要ありません。しかし、嘔吐を短時間に繰り返したり、吐いたものが胆汁様（緑色）だったり、血性だった場合は、病的な嘔吐と考えられるため検査をしたうえで治療が必要なことがあります。